読書感想文22人 税の作文9人

コンクール入賞者を表彰

第27回村読書感想文等コンクールと平成19年度中学生「税についての作文」コンクールの表彰式が11月10日、役場大会議室で行われました。

式には受賞者や父母ら約100人が参加。熊坂伸子教育長が読コン入賞者22人を、深渡宏村長が税の作文入賞者9人を、それぞれ表彰しました。また、読コン優秀賞の熊谷龍也君と税の作文最優秀賞の新屋裕莉さんの2人が入賞作品の朗読を披露しました。

2コンクールで表彰された児童は、次のとおりです。

22人が表彰された読書感想文コンクール表彰式

●読書感想文◇小学校低学年の部▽優秀賞 中花優花（堀小1年） 熊谷龍也（黒小2年）**▽入選** 大村純玲（普小1年） 松家眞美（堀小1年） 藤島眞海（同2年） 赤坂日菜子（同）

◇小学校中学年の部▽優秀賞 銭袋あかね（普小3年） 深渡柊（同4年）**▽入選** 太田倫太郎（同3年） 藤嶋翔（堀小3年） 太田由香（普小4年） 赤坂小春（堀小4年）

◇小学校低高学年の部▽優秀賞 嘉村佳那恵（黒小5年） 太田佳緒里（堀小6年）**▽入選** 駒木李音（黒小5年） 佐々木愛莉香（普小5年） 正路優美（黒小6年）

◇中学校の部▽優秀賞 澤口詩歩（普中3年）**▽入選** 宮本沙央理（同） 太田綾華（同2年） 前川海斗（同3年）

税の作文コンクールでは中学生9人が表彰されました

●税の作文▽最優秀賞 新屋祐莉（普中3年＝**久慈税務署長賞**）**▽優秀賞** 中居ちはる（同＝**全国納貯連優秀賞**） 澤口詩歩（同＝**岩手県納貯連優秀賞**）**▽入選** 赤坂千夏（同1年） 澤田奈津季（同） 太田綾華（同2年）**▽努力賞** 中村駿人（同） 新屋奈緒子（同） 古沼健（同3年）

＝敬称略＝

普代中3年の中居さん

税の作文コンクール 全国納貯連優秀賞に

普代中学校（木村利光校長、生徒97人）3年の中居ちはるさんが、全国納税貯蓄組合連合会の中学生を対象にした「税についての作文」コンクールで全国納税貯蓄組合連合会優秀賞に選ばれました。

11月19日には同校で賞の伝達式が行われました。全校生徒や教職員らが見守る中、木村校長から賞状が伝達されました。

中居さんは「まさか入選するとは思いませんでした。うれしかったです」と受賞の喜びを話していました。

最近、税の無駄使いや、年金問題、増税がよくニュースで取り上げられています。そのせいで、国民は、税にマイナスイメージを抱いていると思います。しかし、実際は、税は私達にとってなくてはならないもので、とても大切なものなのです。

私は、両親に税についてどう思うかを、聞いたことがあります。その時、まだ税について無知だった私は、税の大切さがいまいち分からなかったのです。そんな私と、税の重要さを知っている両親との、考え方の違いを知りたかったからです。

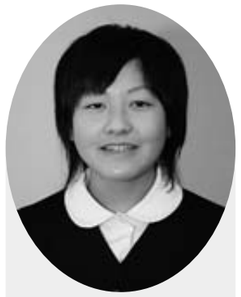
「お父さん。税金って必要ないよね」

私が言うと、父は少し考えて、「お父さんは、税金はあった方がいいと思うな」と、言ったのです。そして、続けて母が理由を言いました。

「税金のおかげで、義務教育の間の九年間も教科書が無償なんだよ。給食も、一部は税金でまかなわれているんだよ」

その話を聞いて、自分自身も税金で支えられていることが分かり、税金は必要なんだなと思うようになりました。

確かに、テレビや新聞では、年金問題や増税が取り上げられています。でも、税金という制度が、私達国民にとって必要なことも確かなのです。国民が、納税という義務をしっかり果たし、税の無駄使いや、年金問題の無い未来を期待したいです。



全国納税貯蓄組合連合会優秀賞 村「税について作文」優秀賞

「税について」

普代中学校3年 中居 ちはるさん

しかし私は、増税に関してはダメな事とは思いません。例え、税金が高くても、国民のための年金や医療の充実が保障されていれば、高すぎる気がしますが、そうではないのです。スウェーデンやノルウェーでは、その税金が国民のために使われているのです。

大切なのは、政府が国民の納得する税金の使い方をすることだと思います。そして、更に大切なのは、国民が政府を信頼して税金を納めることだと思います。

私が未来に望むことは、年金の支払いが保障されていて、医療が充実していることです。そして、義務教育の間の教材の無償など、子供やお年寄りにやさしい政治です。

政府と国民との間に、そんな信頼関係のある日本で、税金を納めていきたいです。

私達の生きる未来を、今よりもっと明るくするためには、私達一人一人が、「納税」という義務の重みを知ることが大切です。その税の重みを再確認し、税金を納めていきましょう。そして、明るい未来を築いていきましょう。（原文のまま）

事故ない村、皆で誓う

26回村交通安全村民大会

交通事故のない村を新たに誓う参加者の皆さん

第26回村交通安全村民大会が11月10日、役場大会議室で行われ、交通安全協会やシルバー部会、母の会ら関係者約100人が参加し、飲酒運転の撲滅やシートベルト、チャイルドシート着用の徹底などを誓いました。

続いて、第24回村交通安全ポスターコンクールの入賞者14人の表彰が行われたほか、講演では、久慈警察署普代駐在所長の小菅登所長が久慈管内の交通事故の現状を話し、安全運転を促しました。

講演後は村交通安全母の会の金子茂子会長が「交通事故のない安全な村を築くため一層努力します」と決意表明しました。

村交通安全ポスターコンクールの入賞者は次のとおりです。

ポスターコンクールで最優秀賞を受賞した3人。左から宇部りか子さん、大上真美さん、宮本輝弥也君

◇小学校低学年の部▽最優秀賞 宇部りか子（普小3年）

＝敬称略＝

県コンクール佳作・村コンクール最優秀賞

大上真美さん（普代中2年）

▽優秀賞 川口愛華（同）**▽佳作** 大上ほのか（同） 日向美羽（同） 柾谷美沙子（同）

◇小学校高学年の部▽最優秀賞 宮本輝弥也（堀小5年）

▽優秀賞 正路優美（黒小6年） 嘉村佳那恵（同5年）**▽佳作** 岩井祥太（同6年） 正路裕也（同） 正路生菜（同）

◇中学校の部▽最優秀賞 大上真美（普中2年＝**県交通安全ポスターコンクール佳作**）

▽優秀賞 外舘ゆきか（同2年） 佐々木詩織（同）**▽佳作** 中村駿人（同） 金田美和子（同） 中田大喜（同）